

南青協便り 第231号



南米産業開発青年隊協会会報

2025年2月10日発行

Boletim n.231 Seinentai do Brasil : Edição 10 de Fev. de 2025

こうよう ふじさん ふじのみやし せんげんたいしゃしきちない
紅葉と富士山、富士宮市の浅間大社敷地内にて



2024.12.06

そがよしなり さんが ほうもん かいがん
曾我義成さん(4期)が訪問したサンパウロ州のベルチオーガ海岸です



目次(第 231 号) ÍNDICE(n.231)

一、表紙：上、 ^{こうよう} 紅葉と ^{ふじさん} 富士山、 ^{ふじのみやし} 富士宮市の ^{せんげんたいしゃしきちない} 浅間大社敷地内にて	
下、 ^{そがよしなり} 曾我義成さん(4期)が ^き 訪問した ^{ほうもん} ベルチオーガ ^{かいがん} 海岸です ...	1
一、Índice 目次 2
一、2025年総会・新年会のお知らせ	会長 渡辺進 3
一、モミジの紅葉です 2024年12月6日浅間大社内で撮影 3
一、1月の月例会報告(1月18日)	会長 渡辺進 4
一、南青協2024年度年間会計報告。会費納入者及び寄付者 5
一、会計報告(11、12月分)	サンパウロ 8期 長田譽歳 6~7
一、後期高齢者も自ずと楽し	サンパウロ 8期 長田譽歳 8~10
一、自分史(51)	ポルトガル 10期 岡井よししげ 11~15
一、6期生の阿部武平氏がお亡くなりになりました	
サンパウロ 6期 盆子原国彦 16
一、トランプは戦争を止められるか	
サンパウロ 9期 貝田定夫 17~18
一、ドイツはロシアの人質になっていた	
サンパウロ 9期 貝田定夫 19~22
一、ベレン・ブラジリア街道のジュセリーノ・クビチェック橋の崩壊	
事故とエストレート・ダム	ジュンジアイ 9期 荒木昭次郎 ... 23~26
一、恵みの時	アラサツバ 8期 丸谷良守27~28
一、最近の写真二枚です	富士宮にて 8期 志方進 29
一、【編集委員】 【次号予定、お願い】 【編集後記】 30

2025 年総会、新年会のお知らせ

会長 渡辺 進

皆様、新年あけましておめでとうございます。下記により総会と新年会を開催します。

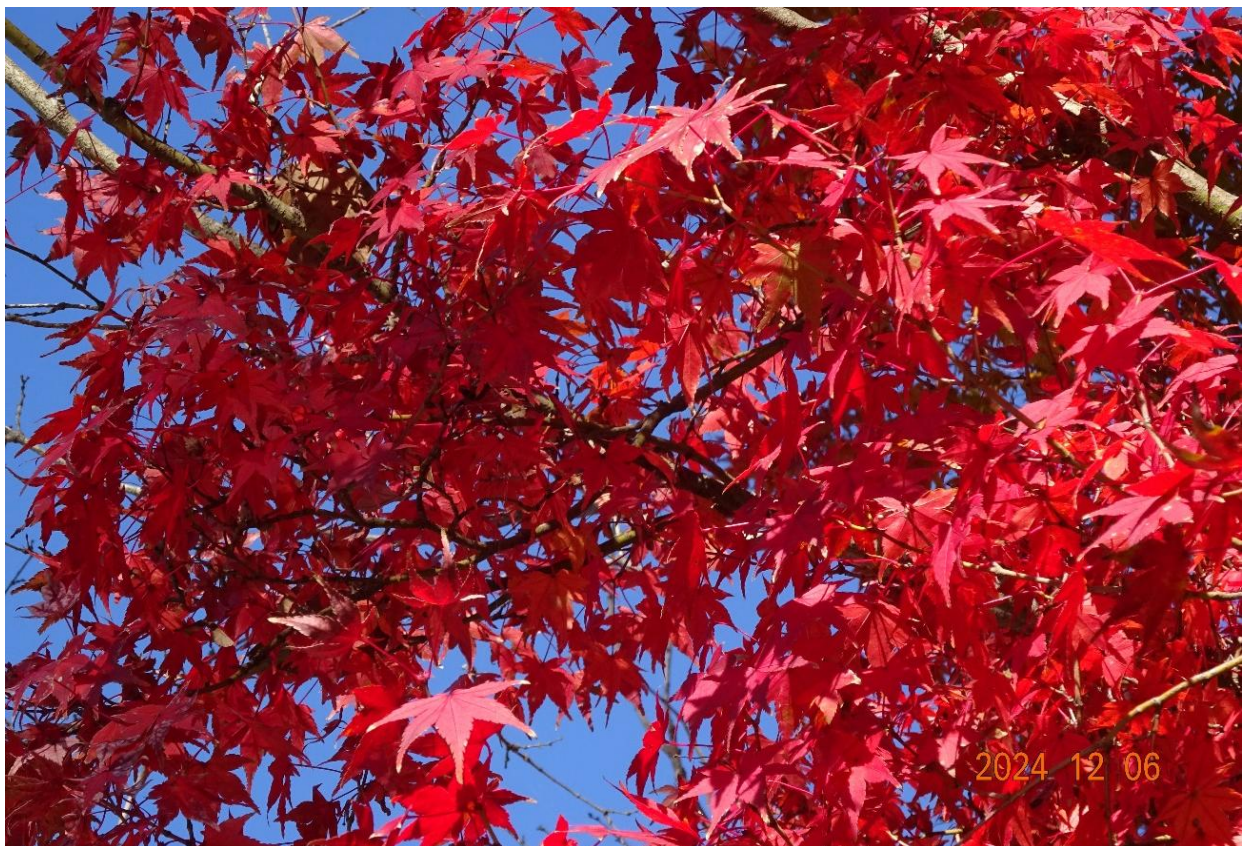
日時 2025 年 2 月 16 日（日曜日）午前 10 時より、

場所 宮崎県人会館 Av. Liberdade, 4 8 6 conjunto 2 1 e 2 2,
Liberdade, SP

申し込み 参加希望者は曾我・長田・早川・渡辺のいずれかに申し込んで
ください。

総会后、1 品持ち寄りで新年会を開催いたします。よろしく願いいたします。

モミジの紅葉です。 2024 年 12 月 6 日浅間大社内撮影



1月の月例会の報告をします。 会長 渡辺進

日時 1月18日（土）10時より実施しました。次のとおりです。

- 1) 出席者は曾我さん、早川さん、温水さん、渡辺と家内でした。
- 2) 会場は曾我さんの会社（リモブロッコ）の事務所でした。
- 3) 慰霊碑清掃を7月19日（土）に実施する。
- 4) 慰霊祭を8月24日（日）に開催する。
- 5) 青年隊子弟に読んでもらい、そして残す為の、冊子をポ語で作る。
その原稿をどうするか。

3, 4, 5、の件は総会で皆さんに報告、意見を聞いて、話し合い、承諾を得る。決まりましたら皆さんにできるだけ早く連絡すること。

昼食は近くのレストランでフェジョアードをおいしくいただきました。

写真は曾我さんと早川さんの提供です。



南青協 2024 年度年間会計報告			
Descrição	Débito	Crédito	SALDO
Saldo anterior			26.985,67
Janeiro	2.266,60	358,65	25.077,72
Fevereiro	3.418,79	4.960,42	26.619,35
Março	402,00	541,19	26.758,54
Abril	1.598,55	3.150,95	28.310,94
Maio	817,20	764,94	28.258,68
Junho	0	751,81	29.010,49
Julho	2.459,15	166,68	26.718,02
Agosto	0	352,50	27.070,52
Setembro	3.455,04	943,62	24.559,10
Outubro	160,00	145,94	24.545,04
Novembro	1.618,15	138,16	23.065,05
Dezembro	100,00	783,79	23.748,84
Total	16.228,43	13.259,09	23.748,84

2024 年度会費納入者及び寄付者	
1次	池辺、山本富美香、磯中
2次	三沢
1期	
2期	
3期	
四期	摂津、馬渡、曾我
五期	馬場、菊池、佐藤
六期	猪口、盆小原、森、三戸
七期	伊達、吉田、藤岡、鈴木、佐竹、橋本、鋸屋
八期	野末、長田、山木、早川、丸谷、吉田
九期	荒木、渡辺、貝田、千田、津田、板垣、羽田（アキラ）
十期	岡井、渡辺、斎藤、阿部、平島

Data	Descrição	Débito	Crédito	Saldo
	10月よりの繰越分			24.545,04
23/Nov	月例会 Aluguel	100,00		
30/Nov	会報 230 号 Copia	803,60		
30/Nov	会報 230 号 Correio	618,55		
30/Nov	会報用 Envelope (200 枚)	96,00		
	Rendimento		138,16	
	Total	1618,15	138,16	23.065,05

Bradesco の支店番号と口座番号		Agência 1480
Extrato Conta Corrente		Conta 33226-7
Takatoshi Osada		Takatoshi Osada
Agência 1480		CPF 698.506.588-00
Conta 0033226-7		CEP 04371-000
Disp.P / Poupança		Cheque の送り先
Saldo	23.065,05	Takatoshi Osada
		Rua Rishin Matsuda, 467
		VI. Sta. Catarina
		Jabaquara - SP

Data	Descrição	Debito	Credito	Saldo
	11月よりの繰越分			23.065,05
19/Dez	月例会 Aluguel	100,00		
23/Dez	年会費 8 期野末郁雄氏(222)		200,00	
27/Dez	年会費 10 期後期斉藤信夫氏(305)		200,00	
27/Dez	年会費 10 期後期斉藤信夫氏(305) 2026 年分		200,00	
27/Dez	寄付 10 期後期斉藤信夫氏(305)		50,00	
	Rendimento		133,79	
	Total	100,00	783,79	23.748,84

Bradesco の支店番号と口座番号 Extrato Conta Corrente Takatoshi Osada Agência 1480 Conta 0033226-7 Disp.P / Poupança		Agência 1480 Conta 33226-7 Takatoshi Osada CPF 698.506.588-00 CEP 04371-000
Saldo	23.748,84	Cheque の送り先 Takatoshi Osada Rua Rishin Matsuda, 467 Vi. Sta. Catarina/ Jabaquara - SP/



後期高齢者も自ずと楽し

サンパウロ 8期 長田譽歳

私は今年一月元旦に85歳の誕生日を迎えました。85歳から普通後期高齢者と言われると思います。我々南青協の仲間は70歳代で大勢の人が次から次へと亡くなって行きました。その頃私は何とかして85歳の祝いをしてから、死にたいと思っていました。

その85歳を無事に迎えたので、新たな気持ちでもう5歳上積みしようと思っています。しかし健康状態で生き永らえて行かないと意味がありません。我々の仲間8期生では志方氏は今年の9月には米寿を迎えます。彼と二番目の丸谷氏はそう簡単に潰れません。次が牧氏と私です。

8期生の仲間の一番の若手でも既に82歳に成った様です。ですから南青協の殆ど全ての人が80歳を越えたと考えられます。

私は、今頃仕事らしい仕事は何もしていません。食料の買出しは以前からも今も全て女房の担当です。少数持っている植木の手入れをそれぞれの時期にするのと、私が食べたい果物と菓子類の買出しのみです。朝の3キロメートルの散歩は毎日欠かさず歩きます。足は痛くないのですが心臓の不正脈の問題を抱えているので急いで歩く事は出来ません。3キロメートルを50分程掛かります。普通の人歩く速度よりゆっくりです。

2026年に家族数人で日本旅行に行こうと思っていますが、私の病の不正脈は案外悪性ではないかと思い、今は半ば諦めています。今迄一度も意識を失った事は有りませんが、調子の良い日は必要以上に良いのです。

そんな調子の良い日は物事をするのに体の動きが早く頭の中が爽快で開けた未来が待っているような感じですが、無理な力仕事をした翌日などは眼が眩しく目眩がして頭が重く、何もする意欲が湧きません。

無理は禁物ですが調子の良い日は忘れてしまいます。どうも少しずつ不整脈が進んでいるようです。85歳まで無事来られたので良かったと思うけどまだまだ未練が残ります。

先に天国に行った人達もこんな思いをしたのだろうと考えます。私は移民としてブラジルに来て、今はサンパウロ市のジャバクアラに住んでいますが、いろいろ回り道をしてきました。パラナの奥地の南青協の訓練所で一年を過ごした後8年程米作、綿、落花生等の作付けをして、4年目に借地で荒山を5アルケール（12ヘクタール）程開き初年度は120パーセントの万作を打ち結婚しました。これなら何百アルケールの大農場主になるのも可能だと思いました。

その年借地面積も倍に増やして奮闘しましたが、天候不順や病虫害の大発生不作続きで農業継続が不可能になり、女房と一歳の女の子を連れてサンパウロに出て来ました。私は日本の産業開発青年隊を終了して、長野県御岳山の麓の

ロック・ヒルダムの工事現場で重機の整備の仕事を2年程して居たので、機械屋として設備関係の仕事に有り付き、都会での生活に何とか活路を見出しました。あれから様々な曲解がありましたが55年の永い年月が過ぎ去りました。

私は移民としてブラジルに渡ってきて思われることは、自分等の子供がこのブラジル社会で十分な活路を見出せる助言を与えてやらねばならないと考えていました。ですから子供の教育を第一に考えていました。我々青年隊は農業一本で進まなかったので良かったと思っています。

私の知っている仲間の子供は皆悠々自適の中流階級の間人として立派に活躍しています。

私の長女は USP の薬学部を卒業して今は北米の製薬会社の Pfizer 社の新薬開発部で働いています。次女は損害保険会社 Porto Segulo 一本で働き7~8年で年金が貰えると言います。三女は Sirio Libanes の保険会社で働いています。四女はカナダのトロントに住んでいます。

彼女の夫はカナダのスコッチア銀行の本店勤務のエリート社員です。

私は4人の子供が立派に働いているので満足しています。

次ページは元旦に私の誕生祝いを兼ねて集まった家族の写真と親族一同の写真です。

家族と親族一同です



私夫婦と3人の子供と2人の孫です。四女の家族は携帯でオンライン参加でした。



2025年元旦の祝いに集った親戚の殆ど全員です。



ポルトガルの第二の都市であるポルト市は、1987年頃の人口がおおよそ25万人程度と推定されています。しかし、ポルト市区自体の人口は20世紀後半から減少傾向にあり、その代わりに周辺都市や郊外（ポルト都市圏）への移住が進んでいました。

一方で、広域のポルト都市圏（**Grande Porto**、例えばヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアやマトジーニョスを含む地域）の人口を含めると、100万人を超える規模になっていました。この時期のポルトガルでは都市化が進み、地方からの移住が多かったため、都市圏全体として人口密度が高まっていました。

1987年頃のヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア（ポルト市の対岸に位置する都市）の人口はおおよそ27万～30万人程度だったと推定され、この地域はポルトガル北部で最も人口が多い自治体の一つでした。ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアは、ポルト市と密接な関係があり、特に1970年代から1980年代にかけて急速に都市化が進みました。

ポルト市内から移住する人々が多く、特に住宅費が比較的安価だったため、多くの移住者を引き寄せました。

また、ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアはポートワインの熟成と貯蔵で有名であり、港湾活動や貿易も盛んでした。この経済的背景も人口増加を支える要因となっていました。

この頃、指圧治療や鍼治療はポルトガルでは非常に珍しい存在でした。肩こりや腰痛などの症状には薬を使うのが一般的でしたが、それでは慢性の腰痛などを治すのは難しいのが実情でした。一方で、指圧療法は即効性があり、多くの患者がみるみる回復していくのが特徴です。

鍼治療でも、独自の手法を用いていました。単にツボに鍼を刺すだけでなく、経絡上のコリのある筋肉に4～6本の鍼を刺し、その鍼の頭に灸頭鍼用モグサ（普通のモグサより荒いもの）を1cmぐらい丸めて乗せ、火をつけました。この方法では、モグサの熱が鍼を通じて体の奥深くまで伝わり、非常に心地よい感覚をもたらします。これを3回繰り返すことで、指圧後の爽快感をさらに高める効果がありました。

口コミで広がった結果、多くの患者が訪れるようになり、一人では対応が難しくなるほど忙しくなりました。そのため、助手を雇い、指圧の技術を教えて治療を補助してもらうようになり、こうしてポルトガルで初めて指圧と鍼治療を教えることになり、弟子の数も次第に増えていきました。

治療台を3台に増設した頃、隣の事務所が閉鎖されることになり、そのスペースを借りることで治療台を6台に増やしました。しかし、ある日突然、2人の助手が辞めることを伝え、さらに成長途中だったブラジル人の助手も姿を消してしまいました。そのため、急遽、妻の順子が指圧師としてデビューすることになりました。

順子はブラジルに移住する前、埼玉県大宮市の八光流柔術総本部で柔術と皇法指圧の勉強をしており、仕事をこなす素地がありました。子供3人と夫の世話をしながらも明確な目標を持っていたため、治療院での仕事をしっかりとこなしました。

その後、テレビ局からの出演依頼を受け、第二チャンネルで指圧の実演を20分間披露しました。この放送が好評を博し、新たな患者が増えるきっかけとなりました。第1チャンネルだと反響はもっと凄かったと思いますがそれでも出演20分の時間はとても素晴らしい出来事でした。

しかし、その矢先にアパートの大家から、息子がアパートに入居するため退去を求められ、新しい住居探しを余儀なくされました。幸い、スムーズに新しいアパートを見つけて引っ越しを終えました。

その後、経済的に余裕が出てきたため、自分たちのアパートを購入する計画を立て、ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア市に建築中のアパートを購入することになりました。ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア市はポルト市を挟んでドウロ川が流れる美しい地域です。

このドウロ川を挟んでの逸話があります。

ドウロ川を挟むポルトとガイア。この地で、ナポレオンの野望を打ち砕く壮絶な戦いが繰り広げられた！1908年5月12日、フランス軍将軍スールトが占領するポルトに、イギリス軍の名将ウェリントンが奇策をも

って挑む。橋を破壊し渡河を阻止しようとするフランス軍に対し、ウェリントン将軍は地元民と共に小舟を集め、夜陰に紛れて兵を川向こうへ送り込んだ。

夜明けとともに突如現れた連合軍の猛攻に、フランス軍は混乱。激戦の末、スールトは撤退を余儀なくされる。ポルトガルはこの勝利で北部を奪還し、ナポレオンの支配に抗う意志を世界に示した。この戦いの壮大さは、ドウロ川を臨むポルトの街並みに今も息づいている。

どうしてポルトガルとイギリスは友好関係にあるのでしょうか？

イギリスがポルトガルを支援した背景には、1386年に締結された「ウィンザー条約」に基づく歴史的同盟があります。この条約は軍事・経済協力を約束し、現在まで続く友好関係の礎となりました。ナポレオン戦争時、イギリスはポルトガルとの貿易を維持しつつフランスの大陸封鎖令に抵抗。

これによりポルトガルはナポレオンの侵略対象となりましたが、イギリス軍はポルトガルを防衛しました。ポルトガルの港湾はイギリス軍にとって戦略的に重要で、特にリスボンやポルトが拠点となりました。さらに、ポートワインをはじめとする経済的結びつきや王室間の婚姻関係も強力な絆を築きました。この同盟はフランスへの対抗を可能にし、ポルトガルの独立を守る重要な役割を果たしました。

このドウロ川はスペイン北部から流れ込んでおり、地域のシンボリック存在です。このような多忙な日々の中でも、治療院の成長と新しい生活の拠点を築くことができました。

順調に楽しい生活が進むのであれば何も苦勞はしないが、当時の仕事初めの5～6年ごろを振り返ればいろいろなことがあったのです。ブラジルの責任者から電話があり、ソシオの一人が弁護士を通して倍賞を100万ドル請求してきたそうです。

「よっちゃん」がポルトガルに引っ越しをする前に長年の功労を称えて、仲間をソシオにしたのです、ソシオにすれば会社の責任者でもあり、色々ソシオとして特典があると思います。私を含めて総勢6人でした。そもそもこれが間違いの元であったのです。

私が居なくなった後も、仕事は順調に進んでいましたが、ソシオの間で責任者のNに対する不信感が生まれました。いわゆる妬みです。「我々の先生が居ないのに、なぜ彼にお金を払う必要があるのか？」とか、「我々はソシオになったのだから、午前中から仕事をするのではなく、昼からでも良いのではないか？」など、さまざまな意見が出てきたようです。

確かに、彼が言うことには一理あるかもしれませんが、しかし、誰のおかげで今の素晴らしい仕事を学び、稼げるようになったのでしょうか？

昔どうしようもない男を世話して今の状態にしてあげたその恩を忘れて、先生に泥を塗るような態度である。目先のことばかり考えている輩に「よっちゃん」の大望はわからない。なぜ先生はポルトガルに移住したのでしょうか？その目的は何だったのでしょうか？ すっかり忘れていてみたいです。

「よっちゃん」はポルトガルに行く前に何度もみんなで話し合い、あちらに行って仕事を拡張して、将来は向こうの連中とお互いに行き来するような体制を作りたい、そうすれば我々はポルトガル中心にヨーロッパの中心に向かって進出することが出来る。ポルトガルはその足がかりである。

そして日本で生まれた世界の発明であるこの伝統ある指圧をヨーロッパ中に広めて、人々の健康と幸せに貢献したいものだと思っている。みんなが賛同して一致してやろうと言う思いで努力してきたのです。

あの当時まだインターネットは無く、連絡手段は電話のみでした。海外通話が結構高額だったため、詳細な説明をすることには限界があり、手紙で主に連絡を取り合っていたのです。しかし、そのNという責任者は私の事情を十分に伝えていなかったようです。ともかく、私はブラジルについて、本人とその弁護士とともに話し合いました。彼は「私はここを離れて独立したいので、100万ドルが必要だ」と飛んでもない要求を突きつけて来たのです。

それに対して、私はこう返答しました。「よく考えなさい、もしこの指圧治療院にそんなにお金があったなら、私はとっくに自分の生活を楽しんでいるだろう」。そして文句言う前に今まで世話になったこの治療所や仲

間に感謝するのが先決ではないか？と伝えました。彼の目的が、最初に高額を吹っ掛けて、最終的に安くしようという魂胆であることは、すぐにわかりました。

私は「どこにそれだけのお金があるのかを証明してくれ」と言いました。私たちは、どれだけの患者を一日に治療して、どれくらいの収入があるのか、そして経費がどれだけかかっているのか、常識的に計算できるでしょう。月末には一緒に集まって収支決算をしているので、その数字は明確であるはずですよ。

結局、彼の要求は正当ではないことが明らかになり、彼はその要求を撤回しました。しかし、一つの治療所を彼に与えることで、問題は決着を見ました。この問題が落ち着いた頃、さらに大きな問題が起きることになるとは、私はまだ知りませんでした。私は、あまりにも人を信じすぎる傾向があります。この責任者の N という男がここまで人を巧妙に騙す男であるとは、思いもしませんでした。

つづく



6期生の阿部武平氏がお亡くなりになりました

サンパウロ 盆子原國彦

阿部武平氏は昨年（2024年）12月30日に死亡、翌31日葬儀が行われ火葬されました。御歳は89歳でした。

阿部氏は南米産業開発青年隊6期生として、1960年10月11日サントス到着のアルゼンチナ丸で44名の一員として移住されパラナ訓練所に入植されました。

そして翌年の6月コチア農業組合が計画した、タピライのお茶植民地の造成工事が行われる事になり、パラナ訓練所から測量班と機械班の人員募集が行われ、機械班の一員として働かれました。その後グアタパラ入植地の道路工事、リオ州のマカエ入植地の造成工事などで働かれたのち、機械班がコチア産業組合の後援を受けソタダ社として改組され、後に多くの工事を請け負われその責任者の一人としてがんばってこられました。

その仕事の中でも大きなものは日伯共同事業のセラード開発に携わられたこと、フランカ市の日系企業のカフェ農場の開発事業などでした。

またサンベルナルド市の日系企業による住宅建設事業、ゴルフ場造成工事など、数上げればきりがありませんが良い仕事をされていました。晩年は日本に行かれたりしたということもありましたが、昨年中旬にがんの手術をされた後、療養の甲斐もなくお亡くなりになりました。 合掌



トランプは戦争を止められるのか

サンパウロ 9期 貝田定夫

トランプは大統領に就任して何をするのか、世界中が戦々恐々としている。既に「パナマ運河を取り戻す。グリーンランドを買収する」と発言し、就任前から世界を困惑させている。

第一次トランプ政権では、パリ協定(地球温暖化対策)から離脱、イラン核合意の破棄、北朝鮮との首脳会談、WHO(世界保健機関)から脱退など、それまでのアメリカ大統領だったらやらないことを次々と実行した。これにより、トランプは何をするか予測の出来ない大統領と言われた。

さらに、トランプはカリスマ性のある強い指導者であるが、傲慢で危険とも見られている。その象徴的な例として、トランプの命令でイラン革命防衛隊のソレイマニ将軍を殺害した事件がある。これは2020年1月、ソレイマニがバグダット国際空港を出ようとしたところ、アメリカ軍のドローン攻撃で殺害された。数発のミサイルがソレイマニと高官たちの車両2台を直撃し約10人が死亡した。危険な攻撃だったが目的を達成した。

ソレイマニはイランの最高指導者ハメネイ師に次ぐ2番目の実力者で国民的英雄として扱われていた人物だった。彼は革命防衛隊を20年間指揮し、多大な成果を上げ近隣諸国から恐れられていた。これほどの重要人物を失ったことはイランにとって致命的な打撃を被ったことになる。イランはハメネイ師も狙われるかもしれないと恐れたことであろう。

トランプ以前の大統領だったら、艦隊を派遣して威嚇するなどから始めるのだが、トランプは大がかりなことをせず、意表を突くしかも効果的な方法で敵を恐れさせた。多分、中国の習近平は肝を冷やしたことであろう。習近平が台湾侵攻をするなら、トランプは「北京のど真ん中にミサイ

ルを撃ち込む」と言うかもしれない。最も恐れをなしたのは北朝鮮の金正恩で、彼は日本海に向けてミサイル発射実験をしていたが、トランプ時代にはピタリと止めている。そしてバイデン政権になってからまた始めた。

これまで述べてきことで何を言いたいかというと、トランプは敵国にとって怖い存在で何をするかわからない。このことが相手を委縮させ抑止力として働く。それ故、先のトランプ政権の4年間、世界はおおむね平穏で大きな紛争はなかった。

また、トランプは力で相手を抑え込むだけでなく、アメリカの仲介でイスラエルとアラブ首長国連邦(UAE)との国交正常化、さらに、イスラエルとスーダンの国交正常化も果たし中東の安定に貢献している。

ウクライナ戦争は満3年になり、戦火は止まず夥しい人命が失われている。イスラエルとハマス・ヒズボラ・イランとの紛争も終わらず、無抵抗の民間人が戦火と飢えの悲惨な状況におかれている。アメリカの強い大統領の決断が待たれている。



ドイツはロシアの人質になっていた

サンパウロ 9期 貝田定夫

2018年7月、当時アメリカ大統領だったトランプがNATO（北大西洋条約機構）のトップ、イエンス・ストルテンベルグ事務総長（以下イエンスとする）と会談した。何故、6年半も前のことを述べるのかというと、トランプは極めて重要な警告を発していた。もし、彼の警告を真摯に受け止めていたならば、ロシアのウクライナ侵攻は無かったかもしれない。

両者の会談の様子はビデオに収められ、日本語訳の付いたものがある。その内容を次に述べたい。最初メディアの「NATOの負担金をもっと支払うべきなのはどの国ですか」の問いがあり、トランプは次のように答えた。

トランプ「多くの国が払うべきものを払っていない。率直に言って、多くの国が長年にわたって途方もない額の負担金を滞納している。それをアメリカが肩代わりし続けてきた。10年、20年とさかのぼって全部たし算して欲しい、莫大な金額の滞納だ。アメリカだけがキチンと払ってきた。私以外この問題を提起した大統領はいない。現在、アメリカは不公平な重荷を背負わされている」。

これに対してイエンスは「ヨーロッパの軍事的・経済的・政治的影響力は、ロシアへの対応に役立っていると思います」。

この漠然としたイエンスの発言にトランプは怒り、次のようにまくし立てた。

「ドイツがロシアと大規模な石油・ガス取引をしていることを非常に残念に思っています。ロシアに対する守りを固めなければならないのに、ドイツはロシアに年間何十億ドルも支払っています。つまり、実質的にアメリカがドイツ、フランスその他の国々を守っているのに、多くの国がロシアとパイプラインの契約を結び、ロシアに何十億ドルも支払っています。

要するに、アメリカはあなた方をロシアから守っているのに、あなた方はロシアに何十億ドルも援助している。これは非常に問題です。最終的にドイツはエネルギーの70%近くを天然ガスでまかない、ロシアに支配されています。これが問題ないと言えますか。私は大統領に就任して以来、ずっと苦言を呈してきました。こんなことは決して許されるべきではありません。ドイツは完全にロシアに支配されています。エネルギーの60~70%をロシアのパイプラインから調達することになり、NATOにとって非常に悪いことで、あってはならないことです。

その上、ドイツはGDPの1%しか払っていないのに、アメリカは、はるかに多い4.2%を払っています。これも問題です。他の大統領もこの問題を承知していましたが彼らは何もしませんでした。きちんと理解していなかったか、関わりたくなかったのでしょうか。アメリカにとって非常に不公平なことで無視できません。10年以上かけてではなく、すぐにでも改善しなければならないと思います。ドイツは裕福な国です。それなのに2030年までにほんの少し増やすなどと言っています。明日からでもすぐに増やせる筈です。アメリカにとって公平な話ではなくこれ以上我慢の出来ないことです。『ロシアの脅威から守られているのに、なぜロシアに何十億ドルもエネルギー代を払っているんだ』と言われていました。

NATOの加盟国ドイツは、何故エネルギーの大部分をロシアに依存し、ロシアに面倒を見てもらっているのでしょうか。ドイツはロシアの『人質』になったのも同然です。ドイツは火力発電所も原子力発電所も廃止しました。そして石油とガスをロシアから買っています。これはNATOが絶対に見なければならない重要問題です。ロシアに何十億ドルも払いつつ、ロシアの脅威から守って欲しいなんて、筋の通らない話です」。

イエンス「NATOは29カ国からなる同盟で、時には意見が一致しないこともあることはご存知でしょう。ロシアからドイツへのガスパイプラインは、意見の相違が生じている問題の一つです。しかし、NATOの強み

は『意見の相違があっても互いを保護し防衛する』という事で常に団結できていることです。二つの世界大戦と冷戦は各国バラバラでいるよりも、まとまっている方が強いということを教えてくださいました」。

トランプ「しかし、敵国からエネルギーを供給してもらっている国がいる状況で、どうやって一緒にまとまるのですか」。

イエンス「ロシア対応に関しても我々が共に立ち向かえば、より強くなれると理解しているからです」。

トランプ「それは『対応している』のではなく、ロシアを豊かにしているだけです」。

イエンス「冷戦時代も NATO 加盟国はロシアと貿易していましたし、どのような貿易協定を結ぶかについては意見が分かれるところです」。

トランプ「貿易するのはかまいません。エネルギーは全く別の話です。エネルギーは通常の貿易とは違う事なのです。ポーランドのようにロシアからガスを買わない国もあります。ロシアの人質にはなりたくないの、ガスを買わないのです。私の知る限り、ドイツはロシアの人質になっています。我々はドイツを守らなければならないのに、彼らはロシアからエネルギーを買っているのです。理由を説明してください。誰も説明できないでしょう」。

ここでメディアは退場したので、ビデオはここで終わっている。

ロシアは軍事大国ではあるが経済的には小国で、2022年の国内総生産(GDP)で見ると韓国に次いで世界11位。そして天然ガスと石油に依存する経済構造である。ロシアは長年にわたって、欧州諸国に天然ガスと石油を供給することで経済的に大いに潤うことになった。

2011年にはロシアとドイツを直結する1200kmの海底ガスパイプライン、ノルドストリーム1、が完成し、ロシア産ガスが迅速に供給されるよ

うになった。しかし、アメリカや東欧諸国は、ロシアの影響力を強めるとして猛反対した。さらに、2018年のノルドストリーム2の計画にトランプは強硬に反対したが、メルケル(当時のドイツ首相)は独立国として決断していると反論し、トランプの警告を無視した。そしてノルドストリーム2は2021年に完成している。

もし、欧州の大多数を占める NATO 加盟国がトランプの警告に従い、ロシアからの天然ガスと石油を止めていけば、エネルギーの輸出に依存しているロシア経済には大きな打撃となった筈である。ウクライナに侵攻する余裕などなかったであろう。ロシアとドイツを直結するガスパイプラインなどは、NATO がロシアを警戒していなかったことを示している。

ロシアのウクライナ侵攻後、NATO 諸国はウクライナへ軍事・経済支援をする一方、敵国ロシアのガス・石油を止めたくても止められない苦境に落ち込んだ。止めれば自国の経済が立ち行かなくなる皮肉な状態になり、各国の為政者は頭を抱えたことであろう。トランプの警告がいかに重要なものだったか思い知ったに違いない。



ベレン・ブラジリア街道のジュセリーノ・クビチェック橋の崩壊事故とエストレート・ダム

ジュンジアイ 9期 荒木昭次郎

ブラジルの首都ブラジリアの建設は1960年に完成し、それに最も多く期待される主幹道路のベレン・ブラジリア街道建設も進み、それに主要工事の橋梁が1960年に完成し、大統領クビチェックが竣工式に参加して完成祝いをを行っています。そしてこの橋梁は530mの長さでジュセリーノ・クビチェック橋と名命されたトカンチンス河を超えての長い橋梁でしたが、今回の落下事故で中間の140mが崩壊する事故となりました。

この橋梁の上流3km程の所に、我々青年隊数名の参加でエストレート発電ダムの建設が2006年に始まり、我々青年隊の数名が建設に参加して2011年に完成しています。

この建設工事に付いては楽書(らくがき)倶楽部(くらぶ)、創刊一周年記念号(2011年4月号)に投稿した「ブラジルのダムと50年、トカンチンス河、エストレート・ダム」編に詳しく書き残してあります(この投稿文は楽書倶楽部特別号、荒木昭次郎編でも見られます)。このJ.K橋のすぐ上流に建設されたエストレート・ダム工事に働いた事などを思い出し、仲間の多い青年隊誌にもと思い書き移して置きます。

トカンチンス河

首都ブラジリア近郊を水源とするトカンチンス河は、水源と河口共に拍国内とする河川では、サンフランシスコ河に次ぐブラジル国内二大河川の一つで2400km流れてアマゾン河の河口で合流します。

流量の多いこの河を利用して、この度エストレート・ダムが完成して、計五ヶ所のダムで発電できるようになりました。その内の三ヶ所ダム(セーラ・ダ・メーザ・ダム、エストレート・ダム、ツクルイ・ダム)などで働きました。

エストレート・ダム

トカンチンス河はベレン・ブラジリア街道とほぼ平行に北に流れていて、トカンチンス州からマラニョン州に入る境の二つの橋が架かっている所の上流約3 kmの地点に建設されています。

主体の工事施工は2006年から10年迄の五年間にわたって行われ、私はこの工事に2010年8月まで1年半ほど、コンクリート施工のコンサルタントとして通っていました。

このダム工事は数年先の電力不足をカバーする為のブラジル経済促進事業（PAC）の一つとして進められました。投資会社としてはフランスのスエズグループ、アルコア、バーレなどにブラジルの数社が加わっています。工事はブラジルのOAS社が請け負い、予定の2010年11月ルーラ大統領のテープカットでゲートを閉鎖し湛水を始め、その数か月後に第一号機の発電を開始して最終的には八機で合計1087MWの発電を行い、現在ブラジルで22位内に入る発電ダムとなっています。

このダムは右岸側（マラニョン州）に発電所、中央に土堰堤（約500 m）、左岸側（トカンチンス州）に余水吐で、これには回転ゲート式16ブロックが造られています。

その他に将来に備えて船舶の通過が出来る運河の計画もあって、ダム延長は1200 mになります。上流と下流の落差は20 mで、多くはありませんが、流量が多いので発電に有利に利用されています。

大型水力発電にはカブラン式、フランシス式、バルブ式がありますが、この発電所にはカブラン式が採用されています。この式はコンクリートの構造が大変複雑で施工に手間がかかります。

土木工事には土砂と岩盤の掘削工事とコンクリート構造物の施工があります。コンクリート工事ではイタリア企業との合同でしたが、最終的にOAS社が独自でやる事になったり、それに自然環境庁の許可も遅れたりして工期が予定より遅れていました。このような工期が遅れている工事には、やはり長い経験を持つ我々青年隊移住者が求められ、数名呼ばれて工事に加わりました。

ブラジルへの南米産業開発青年隊員の移住は50年代後半から60年代にかけて326名が移住しています。やはり建設関係の仕事に勤めた人が多く、電源開発関係の仕事に携わって来た人も多くいます。

このエストレート・ダムではコンクリート打設プラン、技術部、測量部などの各要所に数名詰めて従事しました。ブラジルではダム工事の様な大規模な工事は *Construção Pesada* と言われて、特にダム (*Barragem*) に働く人たちは *Barrageiro* と呼ばれて、お互いに長い知り合いが多く、建設会社が違うダム工事現場でも名前が知られている世界です。

このような重建設工事には、以前は日系人二世はほとんど見かけませんでした。この現場には日系二世の技術者も直接又は間接に数人見掛け、施工技術部、基本設計それに高圧送電網の架線工事などに技術者として数名居られました。

この工事の建設会社はクリチーバ市に本社があり、主にダムの設計をしている会社です。このエストレート・ダムは日系技師のローレンソ・馬場氏が設計責任者として采配を振っています。

彼は1980年代のイタイプ・ダム工事にも働いて、その後もあちこちのダム工事で名を連ねていました。彼は知っている人も多いと思いますが「故郷なき郷愁」の著者・馬場謙介氏の息子さんです。

馬場謙介氏はアララクアラ東京植民地に生まれ、戦前に日本に行き教育を受けました。朝鮮戦争では従軍記者としても活躍された人で、ブラジルに帰国後はサンパウロ新聞にアララクアラ通信員としていつも投稿されていましたのを思い出します。

息子ローレンソ氏は1951年に日本で生まれ、54年に両親と一緒にブラジルに来られ、現在は母がアララクアラに住み日本語の先生、妹はサンパウロで歯医者さん、それに弟は日本で会社勤めをされているそうです。

ブラジルでは土地なし農民とかが居て、何時も問題をおこしていますが、このエストレート・ダムでも水没地域に住む人達が工事反対を叫んで入り口を封鎖し、一週間ほど工事を中止した事がありました。今でも入り

口付近に仮小屋を組み家族で数十人住み込んでいます。（別の現場でしたが工事用の大型重機数台に火をつけられ焼かれた事があります）。
またインペラトリスに行く途中の道路わきにも集団で住み込んでいます。

このエストレート市に日本人が住んでいると言う事をブラジル人から聞いたので、よく聞いたらタケシと言う人で息子がサッカーの選手サンドロ・ヒロシとの事でした。その名を知っている人も多いと思いますが、彼は唯一の日系人選手として98年からサンパウロチームで名を上げました。その後20歳以下の試合に出場した時に年齢詐称をした事が判明し名を落とし、以後は主に韓国を舞台にして活躍されています。タケシ氏はこのエストレートの町に小さな鉄工所を持ってダム現場の仕事もしていました。



青年隊会報230号をお送付下さり、感謝して読ませて戴きました。私も早86歳になり、良くここまで生きて来られたのかが不思議です。

昨年日本の故郷に行った時、同学年の旧友と共にカフェを飲みました。2人の内の一人笹田氏とは良く学校で相撲を取り、少年時代の喧嘩をした友でした。その友人は、大学は明治大学に行き、空手部に入り益々強い人に成ったと他の友達が語っており、もう少しで、小学生の時は良く喧嘩をしたなーと言葉が出そうに成ったが言わなかった。無論相手も分っていることだから。

あの当時から既に75年の歳月が過ぎ去っているのです。光陰矢の如し、人生は不可解なり。私の生涯も全くその通りです。良くぞ今迄生かされて来たことが不思議です。

しかし私共も80歳を過ぎ、この世の旅路の終わりが近づいている今、何を考える事でしょうか。此の世の旅路が終わったら、一体私の肉体と靈魂はどうなるのでしょうか。此れこそ私共にとっては一番大切なことなのです。

そしてこの質問の答えは実に聖書に書いてあるのです。聖書は神様の意向が書かれている唯一の書物なのです。そしてその聖書には神の实在と天国と地獄のあることが記されているのです。神は実存者、つまり誰からも造られた事の無い御方であり、万物の創造者なる御方なのです。

この御神は三身一体なる御方で御父なる神、御子なる神、聖霊なる神として御顕現成されておられるのです。三身一体なる御方で御父なる神、御子なる神、聖霊なる神として御顕現成されておられるのです。

三身一体とは唯一の神であられながら三者として御働きなさる御方なのです。万物はこの三身一体の御神によって作られたのです。それゆえ聖書

は唯一真の生きる神を知り、又信じ、従う事の出来る書物です。

そして素晴らしい事にこの生きる真の神は貴方を、私を、全人類を愛の対象として御造り下さったのです。神は私達の先祖アダムとエバを御造りくださったのです。

しかし神のご命令を護らないで罪を犯した故に神との交わりを失っている状態なのです。しかし神のご命令を守らないで罪を犯した故に神との交わりを失っている状態なのです。しかし御子なるイエス・キリスト様が人の形を取ってこの世においでくださり、全人類の罪の代価を身代わりとなって支払ってくださったのです。それが十字架なのです。

罪の無い御方イエス・キリストはその為にこの世においでくださったのです。それ故に全世界の人々はイエス・キリストのご生誕を祝い感謝するのです。

唯一天国に帰る事の出来る道を開いて下さった御方なのです。

神のこのすばらしい御約束を信じ受け入れ心から従い歩む者に、天国の道は開かれているのです。父なる神は御子イエス・キリストを犠牲にしてまでも私共の罪の代価を支払って下さったのです。故にイエス・キリストを信じるものは救われ、永遠の生命を与える事ができる御約束を与えるのです。

これほど素晴らしい事はありません。全ての時は神によって定められています。生きる時も死ぬ時も神から与えられるのです。選びの自由は人間一人ひとりに与えられているのです。神は言われます、私は恵みの時に貴方に答え、救いの日に貴方を助ける。今は確かに恵みの時です。恵みは信仰なのです。これがイエス・キリストのお救いの信仰なのです。





甲府へ行く身延線列車



工事現場の大型パワーショベル



【編集委員メールアドレス、ご連絡用電話番号】

そ が よし なり
曾我義成 ysoga@rimobloco.com.br 事務所(Escritório) 11-4057-2377
携帯(Tel. Celular) 11-97120-0863

ぼんこはらくにひこ
盆子原国彦 kbonkohara@live.jp 自宅(Residência) 11-3721-1127
携帯(Tel. Celular) 11-97431-9994

おさだたかとし
長田譽歳 takatoshi.osada@gmail.com 自宅(Residência) 11-5563-6929

はやかわかずみち
早川量道 kazumichihayakawa43@hotmail.com
携帯(Celular)15-99778-3107

しかたすすむ
志方進 ssshikata@gmail.com 日本では 070-9087-8862

皆様ふるってご投稿ください。ご投稿を受信しましたら、着信通知を発信しておりますが、ご投稿の到着を確認してください。
ご意見、ご提案、お叱りなどもお寄せください。

【次号予定、お願い】

次号は4月上旬に発行予定です。

ご投稿は3月21日(金)までにお問い合わせ致します。

【編集後記】

今号もご投稿をありがとうございました。

皆様どうぞお元気でお過ごしください。